

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止



# 善乃おっぱい月間女子編

「うわあ、おち○ちんあつあつ♡おっぱい火傷しちゃうし♡  
おっぱいだけでこんなにしちゃうなんて、  
お兄さん達マジ変態だね♡」

ぬるるるる♡

ん♡♡

すっ♡♡

すっ♡♡



「なにこれ？おっぱいとエッチしてるの？マジうける♡  
ほら頑張つてえ♡いっちにいっちに♡  
あはは♡おち○ちんどんどん硬くなってるよ♡」





「ふわぁ！うわぁ、本当に射精しちゃってる……♡」

ズンッ♡

おは♡  
んんんん……♡

ズンッ♡

「あはっ♡いっぱい出たね♡えらいえらい♡  
え？まだ足りない？…しょうがないなあ♡  
それじゃあ思う存分おっぱいエッチしよっか♡」



とぶ...♡

びゅ...♡

びゅ...♡

はっ...♡

「ちよつとくおっぱいにくすぐったいよ♡  
そんなに焦んなくても後で皆の相手してあげるって♡」

「あん♡擦りつけちゃダメだってばあ♡皆のおち○ちん熱すぎて  
乳首おかしくなっっちゃうし♡」

ずびん♡

ギュー♡

むにゅ♡

ぎんぎん♡

びゅ♡



「我慢汁でヌルヌルしてきてるし♥みんなこれが気持ち良いんだ？  
おっぱいにおち○ちんこすりつけてるだけで興奮するとかマジ変態だね♥」

「あん♥そんなに強く押し付けちゃダメだってば♥」

ズッ♡  
ズッ♡  
ズッ♡

あ♡♡

ん♡♡

ぬ♡♡

ズッ♡

ズッ♡

し♡♡  
し♡♡

し♡♡



「あはっ♡出た出た!」

「精子ビュルビュルっておしっこみたいに出てるし♡  
おっぱいに射精しても意味ないのにマジうけるし♡」



びゅるる♡

ぶびゅ♡



「いっぱい出たねえ♡」

「もう：精子でおっぱいヌルヌルだよお♡  
みんな張り切り過ぎだし♡」



「またおっぱいにするのぉ？おち○ちんギンギンにして……♡  
亀頭さんもパンパンですっごい熱いよぅ？んふふ♡  
んじゃあ、あたしの体でおち○ちんいっぱい気持ちよくなるっか♡」



「あっ♥本当におっぱいとおち○ちんでエッチしてるみたい…  
おち○ちんビクビクいって硬くなってきたよ？  
射精す時はちゃんとおっぱいの中に頂戴ね♥」



「きゃっ♡いっぱい出てる♡  
おっぱいの中に収まりきってないし♡」





「弟達の、その…おち○ちんは見たことあるのですが、大人の男性のを触るは始めてで…」

「む、胸で挟めば良いんですね…」



おち○ちん

おち○ちん

おち○ちん

おち○ちん

「お、大人のおち○ちんってこんなに大っきくなるものなんです…  
あはっ♡胸の間からおち○ちんが顔を出したり、隠れたりして可愛いです♡」







「これ、おしっこじゃなくて赤ちゃんの種なのですか？  
あははっおっぱいと子作りなんて聞いたことありませんが  
この独特な臭い…ちよつと変な気分になっちゃいますね…♡」

はぁ…♡

はぁ…♡

たぁ…♡

ぬらぁ…♡

たぁ…♡

たぁ…♡

たぁ…♡



「お、おち○ちん欲しいです…焦らさないで早く胸を…  
わしの胸を思いっきり犯して下さい…♡」

たーらあ〜♡♡♡♡

はあ♡

はあ♡

あゝ♡  
あゝ♡

あゝ♡  
あゝ♡  
あゝ♡

ぶん♡  
ぶん♡



「はああ…熱くてものすごく硬い…」

あゝ

おっ

ぢぢ  
ぬちゅ

しゅっ

「あんっ♡おち○ちんが胸の中でグチュグチュっついていやらしい音立てちゃってます…♡」





「凄い量です…むねの中精液でぐちゃぐちゃになっちゃいました♥」



「そ、そんなに乳首つねったっておっぱいは出ませんって…ん♡」



「それにこんなにおち○ちん硬くなって…  
精液出しちゃいたいんですね…」



「んっ♡おち○ちんがおっぱいと擦れて、凄く熱くなっています…  
もう出ちゃいそうなんですネ？我慢せずにわしの胸に  
おもいつきり射精してください♡」



「んはあっ♡中にいっぱい…出てます…♡」



「おっぱいに収まりきれない量…せっかくの赤ちゃんの種がもつたないです…」





「うわー！君のおち○ちんあつたあつたね！  
おっぱいポカポカだよ！」

「パイズリ？おっぱいでおち○ちんを挟めばいいんだね？  
いいよ！パイズリやろーう！」

「あはっ♡おち○ちんツルツルで楽しいね!」

「よーし!美野里、本気出しちゃうよー!  
よいっしょ!よいっしょ!」



「わはあつ！なーんかいっぱい出てきたよ！」



「変なおーい！でも美野里、この臭いきらいじゃないかも♡」





「おち○ちんすっごくカチカチになってきたよ？もう精子出ちやうそ？」

「美野里精子の臭い大好きだからいっっぱい出して良いよ！」



「あははっ♡出たあ！」

「精子ビュービューって出てるよ♡」







「あはっ♡精子で忍装束がべっとべとになっちゃったよ♡」

ブッブッ

ぽた

ぽた

ブッ

ぬる

ぽた

ぽた

あ...♡

「こんなポーズですするの美野里恥ずかしいよ…でもみんなが楽しんでくれるんなら美野里頑張る！」

「膝で挟むの？こんなの本当に気持ちいいのかなあ？」



「おち○ちんニユルニユルしてきたね！先っぽもパンパンになってるしそろそろ出ちやいそうかな？」



「ビュッビーってあついで精子いっぱいでああ！」





「またいっぱい出たね〜体中みんなの精液でヌルヌルだよお♡」

だらおん〜♡

ぬい♡

とろ♡  
とろ♡  
♡

とろおん...♡

ジュ♡  
ん♡  
♡



「あ…あの、こうゆうことは始めてでして…この様に挟んでいけば良いのでしょうか？痛くはありませんか？」



「あ…あの、こうゆうことは始めてでして…この様に挟んでいけば  
良いのでしょうか？痛くはありませんか？」



「あの、そんなに激しく胸を突かれたら胸が…ん♡  
もう少しゆっくり…ゆっくりお願いします…あ♡」

あっ♡  
ん♡  
ずっ♡  
しゅん♡  
はん♡  
はん♡

たげんた

ずっずっずっ





「あの、そんなに激しく胸を突かれたら胸が…ん♡  
もう少しゆっくり…ゆっくりお願いします…あ♡」

あ♡♡  
ん♡♡  
ずっ♡  
しゅん♡  
は♡ん♡  
は♡ん♡

たげんた

ずっ♡  
は♡ん♡  
は♡ん♡



「んんっ！……これが男性の精液……熱い、それに凄い量……」



「んんっ！……これが男性の精液……熱い、それに凄い量……」



「凄い匂い…♡…あの、私の体はどうでしたでしょうか…？  
喜んでもらえたのなら嬉しいのですが…♡」



「泳ぐ前に一回だけと言われましても、せっかくの水着が…んっ♡  
そんなところあまり強く握らないでください…」♡

「んっ…音が大きすぎます…もう少しゆっくりしてください  
他の方々に…んあっ♡他の方々にバレてしまいます…」



「あぁっ！熱い……」



「これで満足していただけたでしょうか？早く友人の元に  
戻らない怪しまれてしまいます…」







「…ぴ、ピース…こんな感じで  
よろしいでしょうか…」

ぬ  
ぶ  
ぶ  
ぶ  
ぶ  
ぶ

ず  
ぶ  
ぶ  
ぶ

い  
い  
い

「笑顔でピース…ですか？  
ただでさえ恥ずかしいのにそんなこと…」



「腋も胸も頬も男性の性器を擦りつけられて私、何かへんな気分になってしまいます……♡」

「あん♡そんなに激しく突かないでください……みなさんの匂いがこびりついてしまいます……♡」



「あはっ♡凄い…男性の精液いっぱい…」

びしょ  
びしょ

びしょ  
びしょ







「え、え、あ、あのなんで腰をふつているのか…？  
そ、それに何か胸の間がぬ、ヌルヌルしてきた気が…」



「ひゃあああ……あ、あの、む、胸の中に何か出てます…」



「ぐわんぐわん……この白いおしっこ……す、凄く変な臭いがします……」



「あ、あ、あの…なんで私の胸にばかり執着するのですか…」



「お、重さの早くとどろくたせろ…」

あーん  
ぬっ  
ずっ  
びん





「ひゃあっ……あ、あ、あ……」



「うう...だ、ダメって言うてるのに、またこんなに...」

「わ、私の胸は、お、おもちゃじゃないです...」

ぬいほあ...

は...

は...

とろおん...

ぬいほん...

「んん…おち○ちん硬くて、す、凄く熱くなっています…」

「ま、また私の胸で射精するのでしょうか…？」



んん

んん

んん

ずん

ぎん

ギン

ギン

ぬ。ず。ぱ。う。

「ああ…おち○ちんどんどん膨らんできてる…」

しゅっ

おんっ

すっ

んっ

すっ

「も、もう出ちゃいそうですか…?」

だっ  
んっ  
たっ  
んっ

ぽっ  
んっ  
ぬっ  
ぽっ  
んっ

やっ  
すっ





「はぁぁぁ……おっおっぴんの中でおちんちんビュービューっ……」

ぶっぶっ



「い、いっぱい…わ、私の胸、そ、そんなによかったでしょうか…？」

とろろ  
お…

ほお…

んほお…

とろろ…

ぬほお…

だら…

だら…

ズ…